

# 令和7年度 第1回専門部会

## 令和7年度バリアフリー関連施策の実施報告



# 当事者団体へのヒアリング

## ■実施概要

- ・令和7年7月12日に「日本弱視者ネットワーク」の方等13名にヒアリングを実施
- ・さいたま市内の交通機関や道路、施設等について評価点や改善点等を確認
- ・いただいたご意見を基本構想改定の資料として活用

## ■主なご意見

- ・バス車外でも音声でバスの行き先が分かるものがあるとよい
- ・駅のエレベーターは乗降口に音声案内がなく、どこ(何番線の何線のどこ行きのホーム)に行くかが分からぬ
- ・大宮駅の有人改札がタッチパネルになっており、駅員の呼び出し方が分からなかつた
- ・埼京線や武蔵野線の駅に早くホームドアをつけてほしい
- ・駅前の触知案内図は存在自体を知らなかつたし、知っていた場合でも「右に○メートル、左に○メートル」と数多くの情報を言われてもその場ですべて暗記することはできない。
- ・歩道のない道路では外側線(白線)を手掛かりに歩くが、外側線の近くに電柱などが立っていてぶつかることがある。
- ・信号機の音声案内に「ここは○○交差点です」という案内があると自分の位置が確認でき安心する。
- ・飲食店の注文がタッチパネルだと視認性によっては注文できない。店員に注文をお願いしたら断られたことがある
- ・エスカレーターは注意喚起の音声よりもどこに行くかを伝える音声を流してほしい